

<b>第 38 回奈良市子ども・子育て会議 会議録</b>			
開催日時	令和 6 年 11 月 12 日 (火) 午前 10 時～正午		
開催場所	オンラインを併用したハイブリッド形式 ※本会場は奈良市役所 中央棟地下 B1 議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、岡田委員、國原委員、栗本委員、栗原委員、櫻井委員、島委員、辻中委員、山下委員、谷口委員、重松委員【計 12 人出席】 伊藤委員、岡澤委員、梶木委員、田中委員【計 4 人欠席】	
	事務局	<b>【子ども未来部】</b> 野儀子ども未来部理事、保田子ども未来部次長、阪口子ども未来部参事、松田子ども政策課長、片岡保育総務課長、岡本保育所・幼稚園課長、中村子ども育成課長、穴尾子育て相談課長、浦一時保護課長 <b>【保健所】</b> 米野母子保健課長 <b>【教育委員会事務局】</b> 松浦教育政策課長補佐、利川地域教育課長補佐、川口学校教育課長補佐 <b>【福祉部】</b> 北村福祉政策課長	
開催形態	公開（傍聴者：0名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題	<b>【報告案件】</b> (1) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の進捗状況に対するご意見について <b>【審議案件】</b> (1) 第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画）について		
決定又は取り纏め事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の進捗状況に対するご意見について、資料を提示しご意見いただいた。</li> <li>・第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画）について、資料を提示しご意見いただいた。</li> </ul>		
<b>議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等</b>			
<b>【報告案件】</b> <b>(1) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の進捗状況に対するご意見について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員より、「小学校教員と幼児教育関係者が、互いの学びや育ちについて情報共有する機会を設け、小学校教育への円滑な接続が行われるよう連携を図っている」とのことですが、この機会がいつのことを指</li> </ul>			

しているのか質問があった。

- ・事務局より、後日回答すると回答した。
- ・委員より、保育園に通う子とバンビーホームに通う子とで入所要件が異なることについて、「どう要件を変えるべきなのか」「こういう理由で要件を変える必要がない」「変えられない理由が何かしらあるから他にこんなアプローチがある」など、「子どもにとって最善の利益」を考慮しながら深めていけたらいいと思うという意見があった。
- ・事務局より、利用児童数の増加について考慮する必要があるが、ヤングケアラーの問題もあるため、子どもを監護できる 18 歳以上の兄弟姉妹がいれば入所要件に当てはまらない扱いにしていた部分を、緩和するなど可能な範囲で少しずつ要件緩和を検討していきたいと回答した。
- ・委員より、こども家庭庁も切れ目ない子育て支援を非常に重視しているため、「奈良市で子育てをすれば切れ目ない支援を受けられる」という取り組みは、さらに探求いただきたいという意見があった。
- ・委員より、子育て短期支援事業は、「措置」という堅いイメージがあるができるだけユーザーフレンドリーにするため、駄菓子屋やこども食堂を開きファミリーホームの認知度が上がることで、利用者がより一層利用しやすく感じるようになる事例を情報共有するという意見があった。
- ・委員より、保護者のうち誰かが 1 人でも病気になったらどうしようもないと困られる家庭も多いので、緊急で一晩預けられる場所は非常に重要であり、緊急時にも預けられる場所や窓口について今一度検討してほしいという意見があった。

#### 【審議案件】

##### (1) 第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画）について

- ・委員より、KPI 等はどういう形でイメージしているのかについて質問があった。
- ・事務局より、次期計画の進捗管理する事業ごとに適切な KPI 設定に努めていきたいと考えていると回答した。
- ・委員より、奈良市の保育園・幼稚園・こども園が何時から何時まで子どもを預かっているのかについて質問があった。
- ・事務局より、公立の保育園、こども園においては、7 時半から 18 時半までで、園により異なるが延長時

間を含めると 7 時から 19 時まで運営している園もあること。また、公立の幼稚園においては、9 時から 14 時までの運営で、14 時から 17 時までの延長が可能であると回答した。

- ・委員より、大阪市内まで勤務する方々が多いのに、奈良市の立地で 7 時半から 18 時半の保育時間が不足なすぎで、使いにくさがあるのではないかという意見があった。
- ・委員より、待機児童のカウントについて、保育士不足により入園を受け入れてきていないお子さんがいるが、その子たちも待機児童としてみているのかという質問があった。
- ・事務局より、待機児童数は、希望園によってカウントしているので保育士不足で入園できない方も待機児童数に上がってくると回答した。
- ・委員より、量の確保も大切なことだが、保育の質も良くなければならない。また、不登校の子ども達への支援について、カウンセラーを定期的に行ってもらうとか、民生委員に行ってもらうとか、フリースクールを援助するとか、様々なアプローチを検討していただきたいという意見があった。
- ・委員より、1 人で家にいる小学生も非常に多く、東京では訪問看護のような形をとって臨床的なカウンセリングをしている先事例もあるため、そういう事例も参考にしながら検討していただければと思うという意見があった。

資料	【資料 1】 奈良市子ども・子育て会議委員名簿 【資料 2-1】 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）令和 5 年度進捗状況一覧 【資料 2-2】 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）令和 5 年度進捗状況に対するご意見及びご意見に対する対応状況 【資料 3-1】 第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画）概要について 【資料 3-2】 第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画）量の見込みについて 【資料 4】 第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画）素案 【別添】 令和 6 年度奈良市子ども会議意見書
----	---